



# 介護体験を

## 聞く会



ホームページ  
<http://www.yanagida-kaigo.co.jp/>

会報第181号

平成29年3月15日発行

発行所…(有)明寿会

住所…川崎区中島1-13-3

電話044-2333-0061

\*定例会は最終土曜日です。

今月は3月25日です。

四月二十九日(祝)  
午前10時から開設記念会を開催します。地域の方々や関係者の方々はふるってご参加ください。

### 会場は

旭町2ノ13ノ19  
柳田診療所先の  
今村さん宅角左入  
る二〇メートル先  
右側です。

\*会場には福祉運動に参加され、貢献された地域の方々の写真を掲示し、映像などをプロジェクターで投影します。

\*参加費は一人二〇〇円です。

\*ご不明な方は、診療所までご連絡ください。

なお、駐車場は三台あります。近隣にも駐車場があります。

## 「三々五々館」の開設にあたって

柳田診療所 柳田 明

三々五々館は地域の発展のために造られたホールです。元となった柳田診療所は、約40年前に旭町、中島で福祉施設をつくらうと地域の婦人会、老人会の人々とともに努力して来ましたが、そのよくなことが契機でデイケア室、デイサービス室、グループホームと、小さいながら地域の福祉施設が実現してきました。

この40年間の福祉運動実践の結果、多くの学ぶことを得、教訓として得たことがあります。それは高齢者にも子供にも認知症者にも共通して音楽が手をつなぐことが出

### デイサービスおやつ作り



来る手段になるといこうとです。私たちが認知症治療に音楽を取り入れたいと考えている理由は、そのような実践の結果から学んだことです。

そこで専門の施設をつくらうとして実現しました。今後はさらに実践を進展させ、音楽会、映画会、地域の方々の体験、経験を聞く会などへと発展させていきたい。狭い福祉から、広い福祉へと

発展させたいと思います。大先輩は目をつぶっていても編み物があめます。これを子どもたちへ教え伝えてもらいたい。

今、デイケア室ではもし亀体操、桃太郎、戦友などをリリアンをもって歌っています。歌い継がれてきた先輩方からのメッセージを学びながら、新しい未来づくりいかしていこうとしています。三々五々館のせ骨は日本の民族の歴史です。これが私たちの縦糸であり、横糸が戦前戦後の大先輩たちの苦勞話です。これにさらに磨きをかけ、宝石にして次の世代の子どもたちへ伝え、渡したいとおもいます。

私は医師として東洋医学を学んでいます。開業30年間は中国鍼を行ってきた、その効果を実感してきました。ぎっくり腰で仲間の背中におぶられてきた日本鋼管の職員が帰りには歩いて帰ることもありました。

今は漢方を実践勉強しています。漢方医学も縦糸と横糸があり、その両方がかみあって効果を発

揮します。「傷寒論」という縦糸、「金匱要略」という横糸がそれです。縦糸にあたる「傷寒論」は2000年まえにまとめられ、横糸にあたる「金匱要略」は1000年くらい前の中国の宋の時代に整頓されました。日本の平安時代です。これらの医学はアジアのシルクロードの香辛料の交易の歴史のなかで作られ、上げられました。ローマから中国の西安までの民族同士の交流が源泉です。そのため別名スパイスロードともいわれます。例として中国東部の甘草と、セイロンの桂皮が結びついて有名な桂枝湯が誕生しています。アジア交易は医学を創造し、文化を生み、技術を発展させ、アジア諸国を豊かに作りあげてきました。私たちはこのようなアジア諸国との交流の歴史の中にあります。今後はさらにアジア諸国が切磋琢磨して、発展してゆくことを願っています。



真剣な眼差しで共同作業

## 『認知症ケア実践リーダー研修報告』

昨年12月より今年2月末まで計9日間の講義と3日間の他施設実習を行う『認知症ケア実践リーダー研修』を受講してきました。この研修は川崎市高齢社会福祉総合センターが主体となつて行われています。

研修内容は認知症ケアをリーダーとして実践するため、様々な方面から認知症のある方やご家族を支える為の関わり方、チームケアを推進する為の方策を学び、考察する研修でした。

講義では川崎市の様々な事業所に勤務されながらも指導員として講義して下さる指導者の方からチームでまとまるためにはどのようなスタッフへの支援が必要となるのかを学び、また、他施設実習では川崎北部にある特別養護老人ホームへお邪魔し、様々な入居者さんやスタッフの方と交流させていたいただき、会議参加もさせて頂きました。

現在当デイケアでは医師・理学療法士・作業療法士・看護師・介護士と様々な職種の職員が勤務しており、様々な角度から利用者さまを支援するよう考える過程で、チームでどのように支援するかをまとめて行くのかを学ぶ良い機会となりました。そして研修を受ける中で、「私が目指す認知症ケア実践リーダー」とは考えた末にたどり着いたのは、『チームワークを大切にするリーダー』です。

知症の方のみならず様々な疾患を抱えた利用者さんにとつて、言動に表さなかつたつもりでも、感じ取って介護者から遠のいてみたりするものだと思います。

スタッフ同士のコミュニケーションがうまく行っていないと、伝達不足や情報不足で利用者さんに不快感を与えてしまったりすることもあると思います。

仕事の助け合いが当たり前になればその方が快いことが分かり、また利用者さん同士でも思いやりの関係が出来ている方が過ごしやすく、「一人暮らしの方」や「家族がいても一人になりがちの方」が多い中、いがみ合うよりはお互いさまの気持ちを大切に出来る雰囲気を作っていければと思います。

その為には日々の仕事の中で私自身が相手の立場になつて共に学び合う姿勢を崩さない様にしたいと思えます。まだまだリーダーとして未熟ではありますが、今後ともよろしくお願

いたします。  
柳田デイケア 杉山

## 柳田居宅介護支援事業所 平成29年度の抱負

柏倉 友子

日頃より、利用者様やご家族の皆様、各事業所の皆様におかれましては大変お世話になっております。昨年、柳田全事業所では業務の効率化を目的に新しいソフトを導入しました。居宅事業所におきましては給付管理、請求業務ではかなりの時間短縮ができ、その分皆様に関わる業務に取り組みることが出来ます。

介護保険の環境は私ども介護にかかわる者にとりまして利用者の皆様にとりましてまだまだ厳しく、少しずつ値上がる介護保険料（40歳〜65歳の方は今年4月から）、サービス利用料の自己負担は、現役並みに所得がある高齢者は、更にアップし、3割負担になる予定（来年の8月？から）。実際に負担が増えるのは

利用者全体のおよそ3%程度と言われていますが、少子高齢化の時代ですので皆で支えあつていかなければなりません。今の地域福祉、ひいては日本の福祉を憂い、柳田の代表が熱い思いで音楽ホールなるものを建設し、「三々五々館」と命名しました。

今年度は四月半ばから「三々五々館」に引越えし、心新たに四人で力を合わせ、より地域の皆様の頼りになる事業所として成長していきたいと思えます。ご自宅での介護の不安、愚痴、困りごと等いつでもご相談に応じます。是非お立ち寄りください。  
移転先…川崎区旭町2ノ13ノ19

## 柳田で学ぶ事がな いとという視点につ いて。

介護の施設はヘルパー職が先輩方の歴史を、生活史をまなぶ場なのです。学ぶ物が無いといつてやめていった人がいました。介護は三大介護だとい

のです。しかし介護しながら人をみていない。聞いていない。聞く物がなという態度でうぬぼれている。特に男性職員の間かで見受けられる。

このところ上記のような視点の態度を見受けられます。それは10年、20年の経験からではなく、数年やっている中からみうけられます。戦争の経験や生活を知らない、苦勞を学ぼうとしない態度と共鳴しているのです。お世話する先輩の苦勞話を他人事のような態度で聞いている。耳を傾けていると否定はするけど、徹底的に話しを聞いて、当時の記録や本を開いて確かめたりはしない。身



助け合い作業でおやつづくり

体と頭が、自分の興味と関心が第一となつていて。日本で生まれ、日本の環境で育つて、介護の仕事は明日の興味と関心のための手段、それでは紐の切れた風になります。

勘違いをしています。介護しながらその方の大変な人生を見ていないで、民族の歴史をみない。興味がない。そういつていました。私などもあえて苦勞話をしたくはありません。しかし人は人生の先輩の苦勞話を聞き出し、引き出し、お願いして聞くのです。学ぶ姿勢のない人は成長もない。苦勞を乗り越えた父母や先輩から学ぶ、それが日本人の風の糸です。それが学ぶことがないなどとは、興味第一の態度や姿勢で、自ら継承を切断しているようなものです。

私もインターネットのホームページの戦災戦士ズで自らの生い立ちと苦勞を書いていますが、他人の成長の肥やし、糧になればという気持ちからです。

こんどつくる三々五々館もこのような苦勞した

人々の継承の場です。三大介護をのりこえ、利用者から学んだ苦勞話を磨いて、宝石にし、子どもたちに未来を乗り越える肥やしにして与える場です。予定している活動内容は、日々の福祉活動に役立てることです。三々五々館には室内全体に手すりをめぐらせてあり、安全な姿勢で運動できます。デイケア室、デイサービスマス室、グループホームの方が安心して集団リハビリを行います。さらに休日や夜間には音楽を通じてメッセージを引き出し、日本の民族の心や歴史を学ぶとか、子ども編み物教室にして高齢者の知恵を継承する場にす。地域の歴史や、川崎空襲のお話を聞く会、認知症講演会などもできます。

### 「手作り八つ橋風おやつ作り」

2月11日、建国記念日にデイサービスでは午後のプログラムでおやつ作りをしました。皆さんとても楽しみにして下さ

ており、「今日は何を作るのかなく？」「何だろーね」と朝の会、お昼休みも話題が尽きませんでした。

いざ、14時になり、手を洗い手袋をはめ、おやつ作り開始です。「今日のおやつ作りは八つ橋風おやつですよ」と発表すると、「何だろう」「どんなのかなく？」と皆さん興味津々で期待に胸を膨らませておりました。白玉粉を混ぜる時には積極的に「私、やよー！」

「こつちにも持つて来てよー」の声飛び「じゃあ、次は〇〇さんね」と全員で参加し、一人一人の役割を持ち、作業に取り組むことができました。『自分の分は自分で！』と一人一人皮にあんこをのせ、皮を巻いて完成です。「やつぱり自分で作ったのは美味しいね」と皆さんペロリと完食されていきました。「またおやつ作りしましょうね」とお話ししながら、楽しかったおやつ作りは終わりました。予想以上に喜んで下さり、美味しく楽しいおやつ作りをする事ができました。

つ作りをする事ができました。

デイサービス 阿部

### ☆東扇島にドライブへ行って…☆

まだ2月で、寒さが続くなかこの日は晴天で暖かな陽気でした。元々は、予定として入れてなかつ

### 二人とも真剣



たがこんないい天気はない、もったいないからドライブへ行きましょう」と、急遽GHの皆で東扇島へドライブに行つて海を見に行こうとなり、このところ寒さで遠出が出来なかつたからご利用者様からは、「おっ、久しぶ

ぶりだね。』皆で何処かに行ける、出掛けるなんて最高だあり楽しみだから早く行こうよ。』など、数々のお言葉を頂きました。出発前の身支度でも『ちよつと待ってね、すぐすつから：あと何分で行くんだっけ？置いてかないでね。』と時間はまだあるのに焦って身支度を始める人や落ち着いてマイペースに始める方や誰かが困っている時は、手を差し伸べご利用者様同士で助け合い出発までわくわくしながら身支度を済ませてニコニコと笑顔で待ち続けている方と様々な行動や様子が見受けられました。10時になり、車を2台それぞれへ出発をしました。車内で別れ乗り込み東扇島は、道中の風景を見て楽しんで流れる音楽を聴いて一緒に唄いながら盛り上がり皆でたわいもないこととお話をしていううちに東扇島へ到着をしました。車から降りて公園内を歩き周りの風景（海や遠くの建物にたくさん鳥や羽田空港が近くというところから飛行機が飛んでい

るところを近くで数回見ると、皆で楽しむことができて嬉しそうに楽しそうに会話をされてました。又、中央付近にあったベンチで少しお茶を飲もうと座って休憩をとりました。東扇島からは、海沿いというところもあり海が広く見えることからご利用者様と職員一同で『海はく広いなく大きいな』と「海」を唄われました。笑顔と笑い声が絶えず、その後も「かもめの水兵さん」や「きよしのズンドコ節」などまるで宴会をしているかのように大盛り上がりでした。帰りの車内でも何か月ぶりの遠出だったので、『すごく楽しかった。』『次にお出掛けに行くときはもう桜の頃だね』『はしゃいだからお腹が空いた何か食べたい』と色々な声我が家へ帰宅することが出来ました。これからだんだん暖かな陽気へと変わっていくにつれて外へ出る機会が増えていくと思います。皆さんのとつてなじみのある場所、又は行ったことがない場所もまた

楽しみがあり良いと思えます。これからもいっぱい写真の撮りそれを形に、アルバムとして残していけたら最高です。そのためにも健康で元気な日々を過ごしていきます。

グループホーム旭町  
村上  
(平成29年2月22日)

### 三々五々館の設置計画（協力お願いします）

〓〓新館の設置は柳田の次の新時代への飛躍を目的としたもの。柳田とともにやっつけていこうという多くの職員に協力をお願いすることになる。

〓〓診療所開設から40年ともに苦労した人々、これからの苦労をいとわない人々がつどい、継承するための場です。三大介護をのりこえ、利用者から学んだ苦労話を磨いて、宝石にし、子どもたちに未来を乗り越える肥やしにして与える場です。

### \*開設記念会のおもな内容について

- ① 開設者の挨拶
  - ② スタッフ紹介（デイケア、デイサービス、居室、グループホーム、調理、窓口、運転、田淵管理人）
  - ③ 参加者の紹介
  - ④ リリアン体操（もし亀、桃太郎、戦友、荒城の月）
  - ⑤ デイケア集団リハ風景のDVD上映。
  - ⑥ 音楽会（グループホーム群読、民謡、ギター、その他）
- \*今後の予定・・・
- ☆「音楽会」・・・音楽を通じてメッセージを引き出し、学ぶ。唱歌や童謡や民謡など。
  - ☆「映画界」・・・昔の感動的映画を上映して、民族の心や歴史を学ぶ。
  - ☆「継承会」・・・高齢者が目をつぶっても編むことが出来る知恵を継承する場にする。
  - ☆「リリアン体操」・・・地域でリリアン体操を行い、集団脳を活発にする。
  - ☆「お話を聞く会」・・・地域の歴史を聞く会。

☆「川崎空襲のお話を聞く会」・・・体験者のお話を引き出す。

☆「認知症講演会」・・・認知症講演会で介護実践の経験をもとめ、報告する会。

☆「音楽療法の会」・・・感動する音楽、継承する音楽を楽しむ。

☆「文化祭」・・・介護実践の発表会

☆「民謡の会」・・・ボランティアさんの発表

☆「踊りの会」・・・ボランティアさんの発表

2017.3.8



こんなものかな